

例会報告

第2449回例会報告議事録

ロータリーソング「それでこそロータリー」

日時 28年10月18日(火曜日)

S.A.A.: 高島会員

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ゲスト: 2790地区研修リーダー
パストガバナー 白鳥政孝 様

オブザーバー: 小池まゆみ 様
塩毛ゆかり 様
鈴木 豊子 様
熊田 政弘 様

ビジター: 柏東RC

ガバナー補佐 石戸卓志 様
ガバナー補佐幹事 荻野 勝 様
会長 酒巻秀明 様
幹事 吉田恵次 様
渡邊 隆 様
荒木賢治 様
新田辰吉 様
石井晶子 様
中村俊人 様

会長挨拶

鈴木会長



本日は白鳥さんに卓話をいただく機会を得られましたことを本当に幸いに思いますし、また、感謝申し上げます。本年度、白鳥さんは2790地区の研修リーダーでもあられます。

私はロータリーに入って18年になりますが、白鳥さんが2年続けてガバナーをされた時のことを鮮明に今でも覚えています。さまざまな研修会において白鳥さんのお話を聞き、ロータリークラブの何であるかを教えていただきました。ロータリアンとしてどう生きるべきかを教えていただき、その大切な思想は今でも私の心に残っています。

私は今年度2度目の会長を仰せつかり、この一年の計画を立てる中で、ぜひ白鳥さんを卓話にお招きしたいと考えておりました。本日は遠く市原の地よりご多忙の中おいでいただきました。

今日は柏東クラブの皆様も大勢いらしてくださり、感謝いたします。入会予定の方も来ていただきありがとうございます。

今日、来られなかった皆様には後日、週報をお届けしたいと思っております。いつもより多めに週報をたくさん刷るように担当の人にお願しました。

今日は我孫子RCの会員婦人も3名程お話を聞きたいということで馳せ参じております。

この例会がお一人お一人にとって実り多いものとなることを記念して会長挨拶といたします。

RI会長からの創立50周年表彰状を受領しております。ありがとうございました。

親睦委員会報告

村越委員長



来週の例会は柏東さんとの親睦合同例会になります。火曜日ではなく、10月27日(木)に藤ヶ谷にある海鵬荘という所で行います。本マグロの解体ショーをメインに企画しております。出席される方には乗り合いバスの乗り場をご案内させていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

出席報告

伊東委員長

16名出席(全員で23名) 出席率69.56%

幹事報告

木村幹事

本日は特にございません。



今日は大勢の方に集まっていただき、時間まで十分に取っていただきまして、本当にありがとうございます。私はこちらには10年ぐらい前に公式訪問で訪れて、こちらにいらっしゃる渡邊さんに手賀沼がきれいになったこと、この町の特徴などを説明していただきながら、お伺いした覚えがあります。ここでトライアスロンをやるんだと聞いて、そんなにきれいになったんですかと言った覚えもあります。それから文士の町だというお話も聞いて、小高い所から沼を見ると本当に景色がよく、なるほど、こういう所に感性豊かな文士の人達が集まるんだなという印象を受けた覚えがあります。

クラブを訪れますと、非常に歴史ある我孫子クラブさんは世界奉仕の先駆けをされていました。また、利根川の土手に花を咲かせるのに、何の花を咲かせるか種を選ぶのに皆さん侃々諤々と話し合っていたのを覚えています。

今、地区研修リーダーということですが、これはなりたくてなったわけではありません。80を過ぎたら全て降りるつもりで、悠々と整理をし始めていたら、昨年9月に現ガバナーより研修リーダーになってほしいとお願いされ、若い方でやったださる方がいらっしゃらず、そういうお話を聞くと「じゃあ、やります」と引き受けてしまいました。ガバナーを連続してやった時もそうでした。

でも、おかげさまで、余計にやった分だけ私はいろんな人に出会えました。また、ロータリーからいろいろ学びました。こうした席にも呼んでいただき、刺激も受けました。結果的に、単細胞だった私の人生がロータリーに入って、ロータリーにもまれて、時間が経過すると共に非常に心が豊かになりました。ロータリーから受ける恩恵、プレゼントは私にとって得難い、非常に質の高いものでした。それは私の現在の幸せにつながっていますし、かろうじて女房と保っているのも、そのおかげだと思えます。

私は80になってロータリーで話をする時、ロータリーは会員増強をしなければならない、会員増強するには魅力のあるロータリーでなければならない、魅力のある例会でなければならないと、わかったようでわからないことを言っています。魅力のある、とはどういうことなのか、その先を考えなければならないと思ひ、自分なりに考えたことを今日お話ししたいと思っています。

今、日本では少子高齢化で、経済は疲弊しています。過去のロータリーを取り巻く環境とかなり違っていています。従来のパターンで会員増強はできないと思ひます。

当地区では年間250人が入会し、250人が退会します。日本のロータリーは入会して1年未満にやめる人が53%いるそうです。ショッキングな情報です。ロータリーの良さを知らないでやめていくことは残念なことです。

皆さんはそれぞれ企業主であり、専門職のエキスパートです。会社に経営方針、社是社訓のような理念があるということは会社の強みです。ロータリーにも思想があります。どうやって生きるかという哲学もあります。

たとえば、ロータリーには"Service Above Self"「超我の奉仕」という理念があります。自分のことよりも、まず人のためになることを考えようじゃないかという考えです。

2番目の理念として"He Profits Most Who Serves Best"「最も良く奉仕する者は、最も多く報いられる」があります。この標語は経営の理念ですが、ロータリーはそれを受け入れています。

そういう考えの元に4つの目的があり、4つのテストがあります。これは素晴らしい文句です。全部4つをクリアすることは難しいです。

これらはロータリーだけでなく、皆さんのお仕事に使えます。ロータリーで学んだことを家庭や職場、地域社会、ひいては国際社会で応用すると変わって来ます。

ロータリーに夢中になったら会社の経営はおかしくなるよ、というのは私は絶対に違うと思ひます。ただ、ロータリーの本当の本質を理解しないとイケません。

私はガバナーをやっている時代に会社の方が手薄になりましたが、今、戻って、4つのテストなどを応用してやっています。おかげさまで利益は増えました。強い企業になれるのではないかと思ひます。

「ロータリーの差別化を考える」ですが、ロータリーは他の団体とは違う思想、哲学を持っている団体だということです。

米山梅吉さんが「例会は人生道場である」とおっしゃいました。クラブ外の場所でもお互いが切磋琢磨するようになります。お互いの精神的な向上が人生の本当の楽しさ、幸せにつながります。

キザな言い方になりますが、自分自身の人間が出来上がってきて、人徳が出て来ます。下手な欲はかかなくなります。

(次ページへ続く)



ロータリーの会員は皆、偉いも低いもなく平等、対等であると言います。対等というのは1対1、平等というのは大勢の人のことです。1人の人間対人間としてのつきあいというのがロータリーの根本にあります。

渡邊さんも過去にガバナー補佐をされました。非常に頭の切れる素晴らしい方で羨ましく思ったこともあります。そういう方を見ていると、まず威張りません。家庭に帰っても多分そうだと思います。会社でも社長然とはしていないと思います。お客さんとも対等に、へりくだりもしない、威張りもしない、お金でどうのこうのではない、心と心をつつけ合う、そういうタイプだと思います。だからこそ、クラブの中でも好かれます。ロータリーはそういう対等な社会を学べます。どこに行っても恩恵が受けられます。

真剣にロータリーを考えてやっていると、人徳が出て来て、恩恵を受けられるようになります。

夏目漱石さんが「草枕」の冒頭にこう書いています。「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい」

智に立ちますと、規定審議会で侃々諤々(かんかんがくがく)話し合っているうちに険悪なムードになり、喧々諤々(けんけんがくがく)対立します。智に棹さすより、情に流されて、また立ち直ろうと思う方が自分のためになると思います。情に流されて、世の中の無情、不条理について考えると、いろんな知恵が浮かびます。この知恵が大切です。

社会奉仕は打算の世界ではなく、愛情の世界だと皆さん学ぶと思います。愛情の世界とは心の世界です。ロータリーで心を磨くことが一番です。

ロータリーには「しゃべるな、しゃべらせろ」という言葉があります。今日、私はしゃべりすぎてしまいました。



質問 瀧日会員

最近、ロータリーは変わったと盛んに言われ、日本のロータリーはガラパゴスだとも言われますが、我々は今、本当にガラパゴス島に住んでいるのでしょうか。

白鳥パストガバナーより

私がお話したことはロータリーの本質です。これはどんな世の中になろうと変わってはいけないことです。不易の部分です。

ガラパゴスというのは主に職業奉仕について盛んに言われています。職業奉仕について、日本のロータリーは侃々諤々の議論があり、独特のムードを持っていますが、職業奉仕がロータリーの全てだ、と考えるというところでガラパゴス化しているのではないかという気がしています。

職業奉仕は4つの目的のひとつです。いろんなことをやる時に、思想の部分をしっかり持っていればガラパゴス化することはないと思います。

国際ロータリーは職業奉仕より奉仕活動をやろうという傾向になっているとよく言われますが、国際ロータリーの意向に我々は従うことはないわけです。国際ロータリーは逆三角形の下にあります。自立心、アイデンティティ、自分の考えを持っていけばいいと思います。

思想と実践活動をバランス良く持つことです。得られるものは宝の山です。この年齢になってもあいさつ運動の時に駅に出ます。そうやって実践すると心が鍛えられます。

経営者、専門職の集まりであるロータリアンは決して無駄なことはやっていません。またしゃべりすぎました。

質問 渡邊隆様

白鳥さんからお褒めの言葉をいただきまして、ありがとうございます。よく考えてみると、家内を中心に巻き込んで現在があるのかなという気がします。

10年前にガバナー補佐という立場でご指導いただきました。10年間でロータリーについて考えがかわりになりましたか。

白鳥パストガバナーより

他の団体と同じように、NPOが世界で流行っています。今のロータリアンは、人類への奉仕、人道的な奉仕には目を向けますが、ロータリーの基本中の基本である思想に目が向かなくなったという点が変わったと思います。実体は変わっていないと思います。

マザーテレサは、遠くの奉仕よりも自分の足元の奉仕をやるんじゃないかと言っています。

渡邊さんのご質問のお答えになっていなくて申し訳ありません。夜を徹して話さなきゃだめですね。皆さん、いろいろお聞きいただきまして、ありがとうございます。

ご挨拶

柏東 RC 会長 酒巻秀明様



今日はお世話になりました。参加させていただき、ありがとうございました。
当クラブも若い人が増え、ロータリーの精神という部分では非常にまだまだの部分が多いと思います。是非今度、当クラブにも来ていただいて、卓話をお願いしたいと思います。

閉会の挨拶

鈴木会長

本当にもっともっとお話をお伺いしたいのですが、時間を守ることもロータリーの基本と教わってきました。

白鳥さんの地区研修リーダーとしてのお言葉の中に「形を堅持する」というお話がありました。ゴルフでもフォームをくずすと球があっちこちに飛びます。自分の能力を信じ、誇りを持ち、自負を持ってロータリアンとして歩いて行こうという「矜持(きょうじ)」という珍しいお言葉もあります。

ぜひ東さん、もう一度、私たちの年度の時に白鳥さんの卓話をお願いします。馳せ参じます。非常に中身の濃い例会になりました。ありがとうございました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
2790地区研修リーダー パストガバナー 白鳥政孝様	お車代	10,000円 1,000円
柏東RC 会長 酒巻秀明様	お世話になりました。	1,000円
柏東RC 渡邊 隆様	白鳥パストガバナーの卓話に感動致しました。	1,000円
鈴木会長	白鳥さん卓話感謝です。	5,000円
荒井会員	白鳥研修リーダー、卓話ありがとうございました！	1,000円
伊東会員	外部卓話ありがとうございました。	1,000円
木村幹事	白鳥パストガバナー 卓話有難うございました。	1,000円
小池会員	白鳥パストガバナー 卓話ありがとうございました。	1,000円
高島会員	白鳥パストガバナーの卓話を拝聴と、柏東の皆様をお迎えして。ありがとうございました。	2,000円
瀧日会員	白鳥パストガバナー 貴重なお話を有難うございました。	1,000円
服部会員	白鳥パストガバナーの良い話を聴くことができました。	1,000円
依田会員	白鳥パストガバナー様 すばらしいお話ありがとうございました。	1,000円
渡辺会員	パストガバナーの貴重なお話ありがとうございました。	1,000円
塩毛ゆかり様	大変貴重なお話を有難うございました。	1,000円
鈴木豊子様	今日は白鳥さんのお話を伺うことが出来感謝です。 又、お弁当ごちそうさまでした。	1,000円
当日計		31,000円
今期累計		131,000円

今週の表紙「旧村川別荘」我孫子市寿2丁目27番9号

手賀沼を愛した帝大教授、村川堅固が大正10年に設けた別荘です。子之神大黒天のすぐ隣の、沼を一望できる丘の中腹にあります。かつて我孫子には数多くの別荘がありましたが、当時のまま残っているのはここだけです。我孫子市の文化財に指定されており、市民ボランティアによるガイドも行われています。毎年9月には恒例の“竹灯籠の夕べ”が開催され、多くの来場者で賑わいます。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。